

CASBEE-建築(新築)2014年版
 (仮称)中瀬石油貨店新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境			0.40		-			2.4
1 音環境		2.6	0.15		-			2.6
1.1 騒音		3.0	0.40		-			
1.2 遮音		3.0	0.40		-			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00		-			
2 界壁遮音性能			-		-			
3 界床遮音性能(軽衝撃源)			-		-			
4 界床遮音性能(重衝撃源)			-		-			
1.3 吸音		1.0	0.20		-			
2 温熱環境		1.8	0.35		-			1.8
2.1 室温制御		2.6	0.50		-			
1 室温		3.0	0.50		-			
2 外皮性能		1.0	0.17		-			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33		-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-			
2.3 空調方式		1.0	0.30		-			
3 光・視環境		3.0	0.25		-			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50		-			
1 昼光率			-		-			
2 方位別開口			-		-			
3 昼光利用設備		3.0	1.00		-			
3.2 グレア対策			-		-			
1 昼光制御			-		-			
3.3 照度			-		-			
3.4 照明制御		3.0	0.50		-			
4 空気質環境		2.7	0.25		-			2.7
4.1 発生源対策		3.0	0.50		-			
1 化学汚染物質		3.0	1.00		-			
2 発生源対策			-		-			
4.2 換気		2.0	0.30		-			
1 換気量		3.0	0.50		-			
2 自然換気性能			-		-			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50		-			
4.3 運用管理		3.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50		-			
2 喫煙の制御	喫煙室を設け、非喫煙者が煙に曝されないように対策を実施	5.0	0.50		-			
Q2 サービス性能			0.30		-			3.2
1 機能性		3.4	0.40		-			3.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-			
1 広さ・収納性			-		-			
2 高度情報通信設備対応			-		-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30		-			
1 広さ感・景観	売場の天井高は3.3m以上である	4.0	0.33		-			
2 リフレッシュスペース	レストスペースが売場面積の4%以上である	5.0	0.33		-			
3 内装計画		3.0	0.33		-			
1.3 維持管理		3.5	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計	外部鉄骨垂鉛メッキ、動線の段差5ミリ程度以下	4.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
3 維持管理用機能			-		-			
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30		-			2.8
2.1 耐震・免震		3.0	0.50		-			
1 耐震性			-		-			
2 免震・制振性能		3.0	1.00		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

2.4 信頼性			2.4	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		2.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.4	0.30			3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30			
1	階高のゆとり	階高3.9m以上である。	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.14	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30			
3.3 設備の更新性			3.0	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30			2.9
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30			2.0
2	まちなみ・景観への配慮	長岡京市デザイン審査会に適合	4.0	0.40			4.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30			2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.5
LR1 エネルギー			-	0.40			4.2
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.758	5.0	0.20			5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10			3.0
3	設備システムの高効率化	BEI 非住宅 0.66 住宅(専有部) 0.83	5.0	0.50			5.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		5.0	1.00			
	集合住宅の評価(3c)						
4 効率的運用			2.0	0.20			2.0
	集合住宅以外の評価		2.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		1.0	0.50			
	集合住宅の評価						
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			2.7
1 水資源保護			3.4	0.20			3.4
1.1	節水	自動水栓に加え、節水型便器を用いている	4.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60			2.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22			
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.9	0.20			2.9
3.1	有害物質を含まない材料の使用	F4☆の塗装材料を使用	5.0	0.30			
3.2	フロン・ハロンの回避		2.0	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		1.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.4
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCo2=91%	4.2	0.33			4.2
2 地域環境への配慮			3.0	0.33			3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.3	0.25			
1	雨水排水負荷低減		-	-			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制	駅近接のため駐輪場も十分確保	5.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.50			
2	振動		3.0	0.50			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制						
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			